

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立石山小学校

調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

問題別調査結果 概要

- ◇今年度は、国語・算数・理科の3教科で実施され、いずれの教科も全国正答率と比べ、課題が残る結果となりました。
- ◇国語の「書くこと」に関する問題では、全国正答率を上回る問題もあるなど、「話すこと・聞くこと」「読むこと」と比べ、力をつけている傾向にあります。登場人物の行動や気持ちなどについて叙述をもとに考える出題など、「読むこと」に関する出題は、正答率が低く、問題文を読み取る力、質問の意図を解釈する力などを身に付けていく必要があります。
- ◇算数の整数の乗法や最小公倍数、数の処理の仕方を求める出題は、全国と同程度の正答率であり、「数と計算」領域における基礎的な計算や理解ができている傾向にあります。
- ◇理科の学習指導要領の4つの領域のうち、「生命」「エネルギー」を柱とする領域では、全国正答率を上回る問題もあるなど、他の2領域に比べ、理解ができている傾向が見られました。
- ◇3教科ともに、記述式の回答を求められる出題の正答率は、選択式や短答式の出題に比べ低く、また、無回答率も高い傾向にあります。そのため、思考力とともに、端的に考えを書き表す表現力も身に付けていく必要があります。
- ◇国語の漢字の出題や理科の「地球」を柱とする領域など、出題の後半になると、無回答率が高く、前半の出題で時間を割き、回答にたどり着けなかった児童も多くいることが推測されます。

児童質問紙調査

全国平均と比較して良い傾向がある主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか ◇難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか ◇読書は好きですか ◇地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事の先生は除く） ◇5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
全国平均と比較して課題が見られる主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分には、よいところがあると思いますか ◇将来の夢や目標を持っていますか ◇困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか ◇家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む） ◇学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか ◇自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

指導の充実に向けて

- ・学力学習状況調査の結果を踏まえ、児童への接し方や学習環境、基本となる授業パターンを「石山スタンダード」として全教職員で確認し、実践します。特に、授業では、まずは自分で考え、その後、ペアで話し合うなど、自分の考えをアウトプットする機会を多く設けて、学習の活性化と理解促進を図ります。
- ・タブレットをはじめとしてICT機器の効果的な図ります。
- ・児童個々の良さやがんばりが、教職員はもとより、友達にも認められ、自信につながるよう、道徳や学級活動、児童会活動等の取り組みを充実させるなど、あたたかい学校づくりに努めます。
- ・児童の悩みや不安を相談できるよう、教育相談等の機会を大切にするとともに、児童の変化を敏感にキャッチできるよう表情や友達との関係など見守るように努めます。
- ・保護者の皆様と児童の学習や生活の状況について、丁寧に連絡、相談し、ともに同じ方向性をもって児童を支えることができるように努めます。